



令和3年1月13日

株式会社 中国銀行

ちゅうぎんインフィニティファンドによる 株式会社ギフトパッドに対する投資決定について

当行ならびに中銀リース（岡山市北区丸の内一丁目14番17号 取締役社長 浅間 義正）は、『ちゅうぎんインフィニティファンド』による、株式会社ギフトパッド（以下、「当社」）が実施する第三者割当増資を引受けましたことを、お知らせいたします。

当社は、ソーシャルギフトとカタログギフトを掛け合わせた次世代型のオンラインギフトサービスを提供している会社です。主サービスであるオンラインギフトの市場規模は拡大基調にあること、当社の汎用性のあるシステムはギフト目的以外（ポイントと商品の交換機能、社内販売・職域販売、自治体向けポイントの商材化・クーポン機能等）への利用も可能であり、拡張性に優れたビジネスモデルであることを評価、投資決定いたしました。

当社が掲げる「デジタルトランスフォーメーションによる地方創生の実現」は、地域経済の活性化に取り組む当行グループとしても共感するところであります。

また、当社は、地域商社事業を展開する「株式会社せとのわ（※）」と地域事業者の売上向上支援を目的とした連携協定を締結しました。「株式会社せとのわ」との連携を通じ、東瀬戸内経済圏における地域事業者の保有する地域資源の発掘や販路開拓機能を強化することで、当社のさらなる成長を支援してまいります。

1. 投資案件の概要

投資先名（本社所在地）	株式会社ギフトパッド（兵庫県西宮市）
代 表 者	園田 幸央
投 資 額	320万円
資 金 使 途	システム開発資金等
事 業 内 容	オンラインギフト事業
U R L	https://giftpad.co.jp

（※）株式会社せとのわ

令和2年11月に当行子会社として設立された地域商社。当行、株式会社山陽新聞社（岡山市）、株式会社天満屋（岡山市）の共同出資により法人設立され、3社に加え、株式会社アイディーエー（岡山市）、株式会社中国四国博報堂（広島市）から人的支援を受け連携している。

【サービス概要】

株式会社ギフトパッドは、小売、EC、その先にある新たなプラットフォームを創造する会社です。ギフト業界のデジタルプラットフォーム企業として、商品を提供していただく生産者の方々、メーカー様、ユーザー（贈り手）となるご利用企業様、個人のお客様、最終ユーザー様（受け手）の皆様が「三方よし」となる全く新しいマーケットを提供することにより、感動と感謝を伝えることを目指しております。

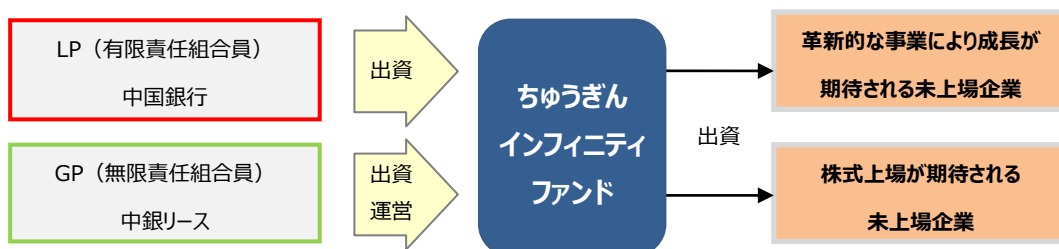
地方銀行と当社の連携で地域経済を活性化



2. 「ちゅうぎんインフィニティファンド」の概要

名 称	ちゅうぎんインフィニティファンド1号投資事業有限責任組合
ファンド総額	5億円
運営会社	中銀リース 株式会社
出資者	当行、中銀リース 株式会社
投資対象	革新的な事業により成長が期待される未上場企業 株式上場が期待される未上場企業
存続期間	約8年間（2027年12月31日まで）

【ファンドイメージ】



以 上